



2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	4,367	8.8	315		313		178	
2019年5月期第2四半期	4,014	11.6	255		256		270	

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 192百万円 (%) 2019年5月期第2四半期 307百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	36.38	
2019年5月期第2四半期	55.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	10,697	5,176	48.1
2019年5月期	9,895	5,036	50.5

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 5,144百万円 2019年5月期 4,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		5.00	5.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,839	22.2	221		220		138		28.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社ジーベック

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社ジーベックは、2019年6月1日付で当社の連結子会社である株式会社プロダクション・アイジーを存続会社として吸収合併したことにより除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期2Q	5,055,400 株	2019年5月期	5,055,400 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年5月期2Q	148,510 株	2019年5月期	148,510 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期2Q	4,906,890 株	2019年5月期2Q	4,906,958 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用情勢と賃金上昇により、個人消費は緩やかな回復が続いております。先行きについては、米中貿易摩擦等を背景に世界景気は弱含み不透明感は継続し、国内では、消費税増税後の消費者マインドの動向に留意が必要な状況となっております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,367,196千円(前年同期比8.8%増)、経常利益は313,179千円(前年同期は256,636千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は178,522千円(前年同期は270,279千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「キミだけにモテたいんだ。」、テレビ用アニメーション「PSYCHO-PASS サイコパス 3」「歌舞伎町シャーロック」「ヴィンランド・サガ」等、その他ビデオ用アニメーション、ゲーム用・遊技機用のアニメーションを制作しました。

映像制作事業では、引き続きCG制作費や外注費の高騰、制作期間の長期化により厳しい状況が続いていますが、納品しました一部の作品について改善がみられました。

以上により、当事業の売上高は2,873,756千円(前年同期比8.3%増)、営業利益は172,797千円(前年同期は261,651千円の営業損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 12巻」「リンカーネーションの花弁 10巻」「ドラゴン、家を買う。5巻」等、定期月刊誌6点、並びに新刊コミックス・書籍53点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リンカーネーションの花弁」「転生貴族の異世界冒険録」は、特に販売好調でありました。コミックスの販売月の変更により書店向け出版売上が前年同期と比較して減少しましたが、電子書籍売上は順調に推移しています。

マンガドア(漫画配信)のWEB版は2018年3月にサービスをスタートし、2019年9月に単月で黒字となりました。WEB版の黒字化を受け、更なる事業拡大に向けてアプリ版をリリースしており、現在は先行投資が続いています。

以上により、当事業の売上高は689,829千円(前年同期比27.7%増)、営業利益は63,441千円(前年同期比5.0%増)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「進撃の巨人」「銀河英雄伝説 Die Neue These」「宇宙戦艦ヤマト」「サイコパス」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

将来の著作権収入を獲得するため大型作品への投資先行となってる一方で、前年同期と比較し映像マスター及びコンテンツ資産の減価償却費が減少しました。

以上により、当事業の売上高は685,804千円(前年同期比3.5%減)、営業利益は156,984千円(前年同期は37,980千円の営業損失)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は117,807千円(前年同期比7.2%増)、営業損失は24,849千円(前年同期は32,343千円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ801,686千円増加して10,697,555千円となりました。主な要因は仕掛品が469,901千円、現金及び預金が346,021千円、映像マスターが163,957千円増加し、一方、受取手形及び売掛金が75,387千円、コンテンツ資産が69,141千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ661,792千円増加して5,521,509千円となりました。主な要因は未払金が292,208千円、前受金が259,860千円、買掛金が129,184千円増加し、一方、受注損失引当金が145,764千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ139,894千円増加して5,176,046千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が153,245千円増加し、一方、非支配株主持分が11,225千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ346,021千円増加し、3,833,143千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、774,117千円(前年同期は224,292千円の減少)となりました。これは主に、減価償却費が363,853千円、前受金の増加が259,860千円、税金等調整前四半期純利益が262,204千円、未払金の増加が148,200千円、一方、たな卸資産の増加が484,830千円、受注損失引当金の減少が145,764千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、362,149千円(前年同期は328,629千円の減少)となりました。これは主に、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が307,248千円、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が17,881千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、62,905千円(前年同期は132,883千円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が34,160千円、配当金の支払額が25,036千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の業績予想につきましては、2019年7月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,497,237	3,843,259
受取手形及び売掛金	931,816	856,428
商品及び製品	124,770	138,763
仕掛品	2,840,281	3,310,182
貯蔵品	7,667	8,604
前渡金	32,400	—
その他	139,972	108,634
貸倒引当金	△938	△308
流動資産合計	7,573,206	8,265,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	498,994	482,942
土地	658,162	658,162
映像マスター(純額)	241,665	405,622
その他(純額)	102,921	91,801
有形固定資産合計	1,501,743	1,638,529
無形固定資産		
コンテンツ資産	360,459	291,318
その他	39,596	40,639
無形固定資産合計	400,055	331,957
投資その他の資産		
投資有価証券	152,688	176,289
その他	294,092	309,784
貸倒引当金	△25,918	△24,568
投資その他の資産合計	420,863	461,505
固定資産合計	2,322,662	2,431,992
資産合計	9,895,868	10,697,555

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	616,629	745,813
1年内返済予定の長期借入金	47,002	12,842
未払金	502,861	795,069
未払法人税等	8,867	70,811
前受金	2,635,051	2,894,912
預り金	182,356	213,748
役員賞与引当金	13,641	2,262
返品調整引当金	41,023	38,593
受注損失引当金	204,515	58,750
株式給付引当金	—	34,800
その他	196,419	260,823
流動負債合計	4,448,366	5,128,427
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
株式給付引当金	35,496	—
退職給付に係る負債	51,827	56,439
役員退職慰労引当金	47,989	50,137
その他	76,036	86,505
固定負債合計	411,349	393,081
負債合計	4,859,716	5,521,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,132,016	2,132,016
利益剰余金	2,340,502	2,493,748
自己株式	△258,417	△258,417
株主資本合計	4,995,602	5,148,848
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,106	△4,233
その他の包括利益累計額合計	△2,106	△4,233
非支配株主持分	42,657	31,431
純資産合計	5,036,152	5,176,046
負債純資産合計	9,895,868	10,697,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	4,014,314	4,367,196
売上原価	3,806,824	3,523,474
売上総利益	207,489	843,722
返品調整引当金戻入額	9,450	2,430
差引売上総利益	216,939	846,152
販売費及び一般管理費	472,895	530,539
営業利益又は営業損失(△)	△255,955	315,613
営業外収益		
受取利息	104	476
為替差益	4,908	—
受取賃貸料	13,861	11,746
その他	2,184	682
営業外収益合計	21,059	12,905
営業外費用		
支払利息	884	457
為替差損	—	102
賃貸収入原価	11,789	8,755
知的財産関連費用	6,574	4,479
その他	2,491	1,544
営業外費用合計	21,740	15,338
経常利益又は経常損失(△)	△256,636	313,179
特別損失		
減損損失	2,757	50,975
特別損失合計	2,757	50,975
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△259,394	262,204
法人税、住民税及び事業税	56,923	70,427
法人税等調整額	△7,197	△2,675
法人税等合計	49,725	67,751
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△309,120	194,452
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,840	15,930
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△270,279	178,522

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△309,120	194,452
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,827	△2,126
その他の包括利益合計	1,827	△2,126
四半期包括利益	△307,292	192,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△268,451	176,396
非支配株主に係る四半期包括利益	△38,840	15,930

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△259,394	262,204
減価償却費	534,972	363,853
減損損失	2,757	50,975
長期前払費用償却額	492	1,321
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,050	△1,979
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△9,450	△2,430
受注損失引当金の増減額(△は減少)	14,336	△145,764
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,024	△11,379
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	△696
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	778	4,612
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,147	2,147
受取利息及び受取配当金	△104	△476
為替差損益(△は益)	△4,908	102
支払利息	884	457
売上債権の増減額(△は増加)	△228,114	76,602
たな卸資産の増減額(△は増加)	△162,875	△484,830
仕入債務の増減額(△は減少)	△110,913	129,361
未払金の増減額(△は減少)	△168,998	148,200
預り金の増減額(△は減少)	90,562	31,392
前受金の増減額(△は減少)	264,880	259,860
前受収益の増減額(△は減少)	△118,286	△57
前渡金の増減額(△は増加)	8,099	32,400
未収消費税等の増減額(△は増加)	△15,426	33,599
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,879	△37,581
その他	26,197	52,488
小計	△210,315	764,382
利息及び配当金の受取額	104	476
利息の支払額	△922	△438
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,158	9,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224,292	774,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△25,000
有形固定資産の取得による支出	△278,816	△307,248
無形固定資産の取得による支出	△49,178	△17,881
出資金の払込による支出	—	△9,900
出資金の回収による収入	1,081	—
保険積立金の積立による支出	△1,658	△1,658
差入保証金の差入による支出	△58	△500
その他	—	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328,629	△362,149

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△36,660	△34,160
配当金の支払額	△24,974	△25,036
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,481	△3,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	132,883	△62,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,807	△3,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△417,230	346,021
現金及び現金同等物の期首残高	3,515,746	3,487,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,098,515	3,833,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,653,174	540,379	710,820	3,904,374	109,939	4,014,314
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,653,174	540,379	710,820	3,904,374	109,939	4,014,314
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△261,651	60,434	△37,980	△239,197	32,343	△206,853

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△239,197
「その他」の区分の利益	32,343
全社費用(注)	△49,101
四半期連結損益計算書の営業損失	△255,955

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失2,757千円を計上していません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,873,756	689,829	685,804	4,249,389	117,807	4,367,196
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,873,756	689,829	685,804	4,249,389	117,807	4,367,196
セグメント利益又はセグメント損失(△)	172,797	63,441	156,984	393,223	△24,849	368,374

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	393,223
「その他」の区分の利益	△24,849
全社費用(注)	△52,761
四半期連結損益計算書の営業利益	315,613

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失50,975千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。